



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ナック

コード番号 9788 URL <http://www.nacoo.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺岡 豊彦

問合せ先責任者 (役職名) 経理部 部長 (氏名) 川野 貴透

TEL 03-3346-2111

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	10,524	9.2	△355	—	△366	—	△578	—
23年3月期第1四半期	9,639	△1.8	△395	—	△401	—	△568	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △589百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △577百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△74.12	—
23年3月期第1四半期	△69.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	21,519	8,787	40.8	1,124.41
23年3月期	20,259	9,548	47.1	1,224.40

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 8,787百万円 23年3月期 9,548百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,800	5.2	590	△10.6	600	△7.7	330	5.6	42.31
通期	60,000	9.9	2,750	9.1	2,750	9.2	1,500	△25.8	192.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	9,359,625 株	23年3月期	9,359,625 株
24年3月期1Q	1,544,658 株	23年3月期	1,560,902 株
24年3月期1Q	7,809,345 株	23年3月期1Q	8,127,377 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9
4. 補足情報	9
受注の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年6月30日)におけるわが国経済は、未曾有の災害に見舞われた中、依然として復興に向けて手探りの状況が続いております。サプライチェーンの復活など一部に明るい兆しも見え始めましたが、被災地における二重ローン問題、原発事故に端を発した電力不足、さらに急激な円高にもさらされており、日本企業にはまだ幾重もの負担が課せられたまま推移しました。

このような状況のもとで、当第1四半期における当社グループの連結業績は、売上高10,524百万円(前年同期比9.2%増)、営業損失355百万円(前年同期営業損失395百万円)、経常損失366百万円(同経常損失401百万円)、四半期純損失578百万円(同四半期純損失568百万円)となりました。

※住宅事業は、物件の完成引渡し下期にやや偏る傾向があり、第1四半期連結会計期間の売上計上は、相対的に低くなるという季節的要因があります。

セグメント別の業績は次の通りであります。

なお、各セグメントの営業損益のほかに、各セグメントに帰属しない全社費用等258百万円があります。

<クリクラ事業>

東日本大震災以降、飲料水の重要性が再認識されました。また、一部地域においては原発事故に絡んで、水道水から放射性ヨウ素が検出され、乳児に対する摂取制限が出されるなどしたため、飲料水備蓄に対する意識、ならびに宅配水に対する認知度が更に広がりました。

このような中、当社の「クリクラ」ブランドにおきましても利用顧客が大幅に増加し、契約顧客数は40万軒を超えております(前年同期比約10万軒の増加)。その結果、売上高3,149百万円(前年同期比51.6%増)、営業利益150百万円(前年同期営業損失99百万円)と大幅な伸長となりました。

高まる宅配水ニーズに対応すべく、生産体制の強化、サプライチェーンの再構築、ネット環境の充実をさらに進めてまいります。

なお、当期において宇都宮に製造プラント新設を予定しております。

※「クリクラ事業」は、従来「ボトルウォーター事業」と表示しておりましたが、「クリクラ」というブランド名が認知されてきたことから、今回よりセグメントの名称を変更しております。

<レンタル事業>

主力のダストコントロール商品は、期首の販促キャンペーン効果により、家庭市場における契約軒数増加が寄与しましたが、企業の経費削減等の影響が続いた事業所市場の落ち込みをカバーするまでにはいたりませんでした。

一方、害虫駆除関連部門では季節的な需要増と販促キャンペーンによって微増で推移しました。

以上の結果、売上高2,666百万円(前年同期比2.5%減)、営業利益302百万円(同26.6%減)となりました。

<建築コンサルティング事業>

東日本大震災により、住宅部資材の流通にはかなりの支障をきたしましたが、国内サプライチェーンの回復にともない、主力ノウハウ商品販売、共同仕入れによる部資材販売も順調に回復しました。当期から工務店向けにフラット35利用者からの受注をサポートしたことも後押ししております。

また、電力需給のひっ迫により、電力会社からの送電のみに頼らない分散型電源として太陽光発電システムに対するニーズが高まっており、東京、大阪、福岡に販売拠点を拡大したことで売上にも大きく貢献しております。

その結果、売上高627百万円(前年同期比44.5%増)、営業利益85百万円(同136.7%増)となりました。

<住宅事業>

前期末において900棟の受注確保がありましたが、震災による着工遅れにより、売上高4,080百万円(前年同期比7.1%減)となりました。損益面については、積極的な新規出店に伴う費用増と、例年売上高の割合が下期に偏る傾向を有している一方で、販売費・一般管理費は年間を通して平均的に発生するため、営業損失636百万円(前年同期営業損失483百万円)となりました。

受注状況につきましては、当第1四半期連結累計期間に702棟(前年同期比39.8%増)の受注があり、当第1四半期連結累計期間末における受注残も1,334棟(前年同期比40.3%増)となっております。特に東日本では震災復興の影響もあり、前年比・当期計画とも大幅に上回り順調に推移しております。

なお、出店につきましては、当四半期に水戸店、守谷・宇都宮南・栃木の各展示場、以降、本年度中に、つくば・加古川・熊本・岡崎・豊橋・宇都宮の各支店および姫路・佐沼展示場の開設が決定しております。これにより店舗数は、43支店10展示場になります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産総額は、21,519百万円となり、住宅事業における未成工事支出金等の増加により前連結会計年度末に比べ1,259百万円増加しました。

負債総額は、12,732百万円となり、主として、短期借入金の増加及び住宅事業における未成工事受入金の増加により前連結会計年度末に比べ2,021百万円増加しました。

純資産は、8,787百万円となり、四半期純損失578百万円計上及び配当金194百万円の支払等により利益剰余金が減少し、前連結会計年度末に比べ761百万円減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の連結業績は、ほぼ期初計画の範囲内で推移しており、現時点におきましては、平成23年5月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,968,787	2,444,398
受取手形及び売掛金	2,179,292	2,293,971
商品及び製品	722,697	968,119
未成工事支出金	1,278,966	2,164,592
原材料及び貯蔵品	80,002	90,267
その他	2,106,502	2,279,571
貸倒引当金	△193,551	△179,261
流動資産合計	9,142,698	10,061,660
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,829,637	4,811,705
土地	2,375,158	2,389,880
その他（純額）	554,756	837,357
有形固定資産合計	7,759,552	8,038,942
無形固定資産		
のれん	124,310	113,535
その他	154,103	149,744
無形固定資産合計	278,413	263,280
投資その他の資産		
差入保証金	2,219,398	2,279,900
その他	1,327,824	1,361,606
貸倒引当金	△468,045	△485,859
投資その他の資産合計	3,079,178	3,155,647
固定資産合計	11,117,144	11,457,870
資産合計	20,259,842	21,519,531

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,304,720	2,471,527
未成工事受入金	2,063,639	3,832,908
短期借入金	1,222,236	1,720,300
未払法人税等	318,247	60,130
賞与引当金	626,177	345,579
引当金	156,987	108,072
その他	2,136,189	2,393,004
流動負債合計	8,828,199	10,931,523
固定負債		
長期借入金	939,250	773,000
資産除去債務	496,713	500,760
その他	446,949	526,993
固定負債合計	1,882,912	1,800,753
負債合計	10,711,112	12,732,277
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,000,000	4,000,000
資本剰余金	794,465	797,021
利益剰余金	8,045,528	7,271,702
自己株式	△2,074,681	△2,054,258
株主資本合計	10,765,311	10,014,465
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,739	22,010
繰延ヘッジ損益	△2,827	△2,727
土地再評価差額金	△1,246,493	△1,246,493
その他の包括利益累計額合計	△1,216,581	△1,227,210
純資産合計	9,548,730	8,787,254
負債純資産合計	20,259,842	21,519,531

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	9,639,873	10,524,006
売上原価	5,653,919	5,938,689
売上総利益	3,985,953	4,585,317
販売費及び一般管理費	4,381,186	4,941,250
営業損失(△)	△395,232	△355,933
営業外収益		
受取利息	3,883	3,584
受取配当金	4,937	5,067
受取地代家賃	3,212	2,443
受取手数料	2,345	3,230
その他	10,701	10,217
営業外収益合計	25,079	24,543
営業外費用		
支払利息	16,643	11,532
減価償却費	2,946	2,702
為替差損	3,162	18,133
その他	8,306	2,484
営業外費用合計	31,058	34,852
経常損失(△)	△401,211	△366,243
特別損失		
固定資産処分損	2,230	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	98,705	—
特別損失合計	100,935	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△502,147	△366,243
法人税、住民税及び事業税	4,542	45,645
法人税等調整額	62,179	166,969
法人税等合計	66,721	212,614
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△568,869	△578,857
四半期純損失(△)	△568,869	△578,857

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△568,869	△578,857
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,140	△10,729
繰延ヘッジ損益	—	99
その他の包括利益合計	△8,140	△10,629
四半期包括利益	△577,010	△589,487
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△577,010	△589,487
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	クリクラ事業 (注) 1	レンタル事業	建築コンサル ティング事業	住宅事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,077,283	2,736,029	434,052	4,392,508	9,639,873	—	9,639,873
セグメント間の内部 売上高又は振替高	68	114	—	—	182	△182	—
計	2,077,351	2,736,144	434,052	4,392,508	9,640,055	△182	9,639,873
セグメント利益又は損失 (△)	△99,301	412,500	36,220	△483,239	△133,820	△261,412	△395,232

(注) 1. 「クリクラ事業」は、従来「ボトルウォーター事業」と表示しておりましたが、「クリクラ」というブランド名が認知されてきたことから、セグメントの名称を変更するものであります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△261,412千円には、セグメント間取引消去・その他調整額19,854千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△281,266千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	クリクラ事業 (注) 1	レンタル事業	建築コンサル ティング事業	住宅事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,149,761	2,666,686	627,355	4,080,203	10,524,006	—	10,524,006
セグメント間の内部 売上高又は振替高	44	114	—	—	159	△159	—
計	3,149,805	2,666,800	627,355	4,080,203	10,524,165	△159	10,524,006
セグメント利益又は損失 (△)	150,530	302,907	85,724	△636,686	△97,524	△258,408	△355,933

(注) 1. 「クリクラ事業」は、従来「ボトルウォーター事業」と表示しておりましたが、「クリクラ」というブランド名が認知されてきたことから、セグメントの名称を変更するものであります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△258,408千円には、セグメント間取引消去・その他調整額26,367千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△284,776千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

受注の状況

セグメントの名称	受注高 (千円)		受注残高 (千円)	
	前第1四半期 平成22年4月1日～ 平成22年6月30日	当第1四半期 平成23年4月1日～ 平成23年6月30日	前第1四半期 平成22年6月30日現在	当第1四半期 平成23年6月30日現在
住宅事業	7,386,740	10,573,378	14,311,533	20,393,793